



豊岡市長が三島駅南口再開発事業について理解を求めた市民説明会＝三島市民文化会館

三島駅南口

市長「再開発理解を」

市民説明会 少子高齢化対応

三島市は11日夜、健康医療拠点と観光交流拠点を整備する三島駅南口再開発事業の市民説明会を市民文化会館で開いた。市最大の行政課題である点を踏まえ、豊岡武士市長が直接説明した。少子高齢化や地域経済の活性化、定住・交流人口の増加に対応する構想であると強調し、理解を求めた。

事業のうち東街区「車場運営などで直接の(約1・3秒)は健康収入効果を見込む。商療を軸とした商業施設設部分は定期借地設やマンション、立体とし、借地権終了後は駐車場を建設する。固社会情勢に合った新たな定資産税、市民税、駐な再整備ができる余地

Q 三島駅南口の再開発事業 1997年に当時の国鉄清算事業団から東街区0・9秒、西街区0・49秒の払い下げを受けた。長引く不況で開発に手が付かず、一時持ち上がった計画も東日本大震災で頓挫した経緯がある。両街区とも暫定の駐車場、駐輪場とする事実上の塩漬け状態が続く。2012年に策定した全体構想(グラウンドデザイン)を基に東街区は民地0・4秒と合わせて整備し、西街区は0・34秒を民間に売却した上で活用する方向性を打ち出した。

事業のうち東街区「車場運営などで直接の(約1・3秒)は健康収入効果を見込む。商療を軸とした商業施設設部分は定期借地設やマンション、立体とし、借地権終了後は駐車場を建設する。固社会情勢に合った新たな定資産税、市民税、駐な再整備ができる余地

を残す。

西街区(0・34秒)は主にホテル建設を想定。三島駅は伊豆平島や富士山、首都圏に近い地理的優位性があり、複数の民間事業者から引き合いがあるという。2020年東京五輪前の開業を目指し、にぎわいの創出につなげる。月内にも事業者を公募する方針。

豊岡市長は構想策定の背景には市内の人口減少や産業の縮小があると指摘。市郊外に造成する三ツ谷工業団地や他の産業振興策とともに総合的に雇用を確保するとした。

また構想は各種アンケート調査の結果を踏まえ、市民の意向を反映した内容であるとし、「三島に生まれ育つて良かったと思えるまちづくりを進める」と述べた。

市民からは大型施設建設に伴う環境面への

リスクや事業者選定の際の透明性を問う意見などがあつた。
(三島支局・河村英之)